

案件（５）豊田市公共交通会議の計画事業について〈報告〉

1 令和7年度実施事業

- ・公共交通マップの作成（予算 1,000 千円）
→「別紙」の内容で更新予定。

2 令和8年度計画事業（案）

（単位：千円）

事業区分	事業名	事業内容・目的	経費（概算）
利用促進事業	公共交通マップの作成	市内の公共交通の利用に関する情報提供を行うことにより、公共交通利用の促進を図る。	1,000
	豊田市公共交通おでかけスタンプラリー	鉄道やバスを乗り継いで、市内観光地への誘客を目的としたスタンプラリーの実施を通じて、豊田市内における公共交通機関の利用促進を図る。	500
	ノベルティグッズの作成	豊田市公共交通に関するオリジナルのグッズを作成し、イベント等で配布する。	500
新たな担い手確保事業	バス運転体験会&交通事業者企業説明会の開催	路線バスの運転に興味がある方、その他公共交通の運転手を目指したい方を対象に、バス運転体験会や運行事業者による企業説明会を開催する。	500
乗り物魅力アップ事業	親子で楽しめる乗り物イベントの開催	現在実施しているおいでんバス乗り方教室に加え、乗り物の車両基地見学など親子で楽しめるイベントを実施する。	500

3 スケジュール

事業名	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
公共交通マップの作成	掲載内容の検討・関係者調整			校正・発行
豊田市公共交通おでかけスタンプラリー	企画検討・関係者調整（開催時期は今後調整）			
ノベルティグッズの作成				
バス運転体験会&企業説明会	関係事業者との調整（開催時期は今後調整）			
乗り物イベントの開催	関係事業者との調整（開催時期は今後調整）			

（参考）令和8年度事業のイメージ

公共交通マップの作成



豊田市公共交通おでかけスタンプラリー



ノベルティグッズの作成



バス運転体験会&交通事業者企業説明会の開催



親子で楽しめる乗り物イベントの開催



別紙

1 現行のバスマップについて

(1) 前回会議での意見

- ①目で見て分かる媒体のものを作っておくと良い。
- ②高齢者が取り残されていると感じないようなやり方にしてほしい。
- ③情報提供の方法を考える必要がある。すべての情報をバスマップで得るという時代ではない。
- ④新豊田駅の工事に関して、明るい未来を感じさせる雰囲気で情報を出してほしい。
- ⑤バスで行ける観光地等を掲載しているが、情報量や行ける場所の選択肢が少ない。もっとお出かけのきっかけづくりになるような工夫をしてほしい。
- ⑥観光関係で利用促進方法を考えていけると良い。



【検討事項】

- ①バスマップの利用者層を意識したデザインに → 「高齢者」「観光客」を意識したデザイン構成
- ②情報の見せ方・配置の検討 → 二次元コードを使用して別サイトに誘導する情報と、紙面を割いてビジュアルで強調する情報のメリハリをつける
- ③「乗り場案内」コーナーのリニューアル → 豊田市駅バス停の西口集約に合わせデザインを一新
- ④観光地案内の充実 → おでかけのきっかけになるような観光地等の情報を提供できるよう工夫

(2) 更新のポイント

①表紙ページのデザイン刷新



「バスの乗り方」「時刻表」「バスキャッチ」を表紙面に掲載することで、バスに乗ったことがない人でもわかりやすく、簡単に情報を得られるように工夫する

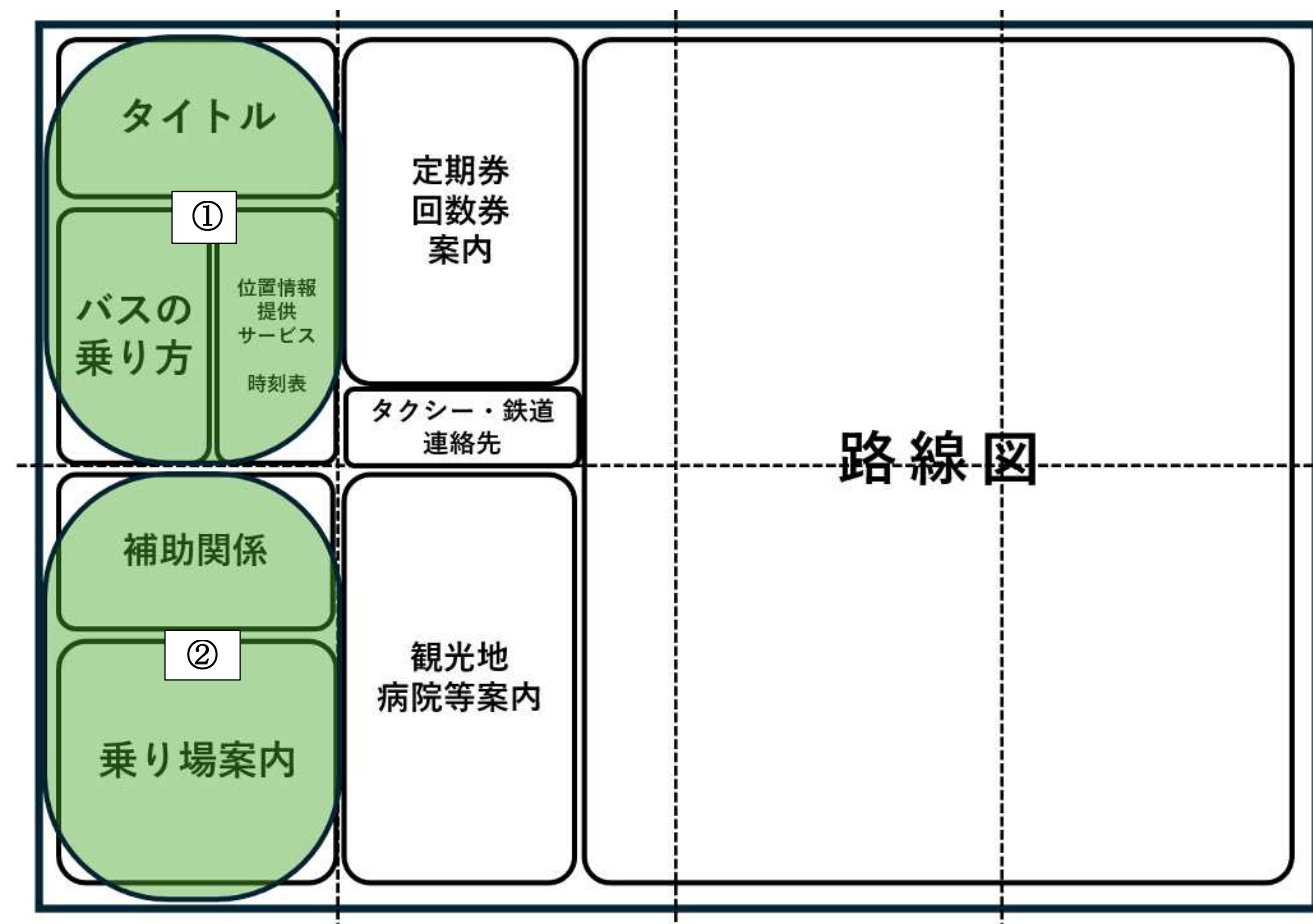
おでかけ意欲をかき立てる写真を使用

バスのリアルタイムな運行状況や目的地のルート検索が可能なサイトの情報を提供することで、利便性向上を図る

バスの乗り方欄は、高齢者や子どもでも簡単に理解できるように、見やすさを工夫する

2 バスマップの更新イメージ

(1) レイアウト案



②「補助関係」「乗り場案内」コーナーの見直し

「誰が利用する情報か」を意識した紙面構成とし、二次元コードを使用して別サイトに誘導する情報と、紙面を割いてビジュアルで強調する情報のメリハリをつける

「おでかけパス70」の情報は大きい文字で、ビジュアル的にわかり易く表現
「バス通学定期代補助」の情報は二次元コードで市ホームページに誘導

バス停の豊田市駅西口集約に伴い、「乗り場案内」コーナーをリニューアル
各路線の最終便案内は新ダイヤで掲載

